

現在の感染状況は落ち着いているが、例年冬にかけて感染者が増える傾向にある。東北大学の押谷仁教授（感染症疫学）は「大勢が亡くなっている事実を認識し、高齢化社会の日本で被害を減らすために何ができるのかを一人一人が考えないといけない」と訴えている。

人口動態統計のうち、確定数（23年5～12月）と、確定前の概数（24年1～4月）

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類となった2023年5月～24年4月の1年間で、死者数が計3万2576人に上ったことが24日、厚生労働省の人口動態統計で分かった。季節性インフルエンザの約15倍と格段に多く、大部分を高齢者が占める。政府は重症化リスクの低下を理由に新型コロナウイルスの類型を引き下げ、日常生活の制約はほぼなくなったが、今も多くの人が脅威にさらされている。

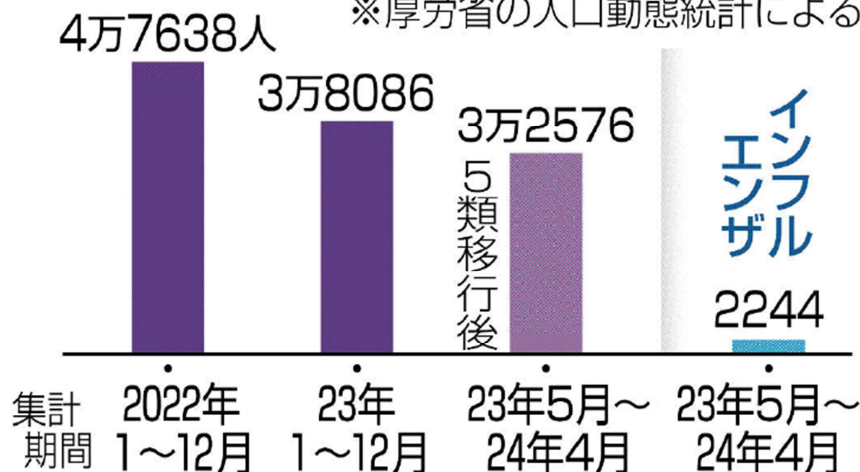
新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類となった2023年5月～24年4月の1年間で、死者数が計3万2576人に上ったことが24日、厚生労働省の人口動態統計で分かった。季節性インフルエンザの約15倍と格段に多く、大部分を高齢者が占める。政府は重症化リスクの低下を理由に新型コロナウイルスの類型を引き下げ、日常生活の制約はほぼなくなったが、今も多くの人が脅威にさらされている。

5類移行後、インフルの15倍

コロナ死者年間3万2576人

新型コロナなどの年間死者数

※厚労省の人口動態統計による



▲10月25日 福島民友新聞掲載

新型コロナの死者関係について、5類指定以降、統計からどのようなことが分かりましたか？

インフルエンザと比べて、死者数が15倍と多いのはどのようなことが原因と考えられていますか？

この記事を読んで、あなたはどのようなことを考えましたか？